

令和6年度 大阪府立消防学校教育訓練計画

別添1

教育課程	入校資格	教育時間	実日数	教育期間	実施回	令和6年度 入校予定者	到達目標	主な教育内容	
初任教育	新たに採用された者及び初任教育未修了者	920 ※別表	全寮制 6ヶ月間	4月4日(木)～9月25日(水)	第116回	226名	服務義務を理解し、職務意欲が旺盛で、住民の信頼を得られること。 警防隊員として、基本的な安全管理について理解し、自らの安全を確保し、災害現場では隊長の 下命に基づく基本的な活動ができること。 消防業務全般について概要を理解していること。 住民からの一般的な質問に回答できること。	基礎教育(倫理、法学基礎、理化学、消防関係法令ほか) 実務教育(火災防ぎよ、査察・違反処理、防災、安全管理ほか) 実科訓練(訓練礼式、消防活動訓練、救助訓練、水難救助訓練、 機器取扱訓練ほか) 救急科(救急業務及び救急医学の基礎、応急処置の総論ほか)	
				10月3日(木)～3月27日(木)	第117回	161名			
警防科	警防担当者及びその予定者	72	通学制 9日間	10月7日(月)～10月18日(金)	第314回	57名	警防行政の現状及び課題を理解していること。 防災関係法令に関する専門的知識及び災害対策に関する最新の知識を豊富に有していること。 各種災害事象に対する基本的消防戦術を理解し、災害現場において部隊を適切かつ効果的に指揮 できること。 心身の健康管理に積極的に取り組めること。	警防対策、消防戦術と安全管理、各種機器操作訓練、惨事ストレス対 策、BC災害対策、集団災害対策、事例研究、シミュレーション訓練 ほか	
予防科 防火査察課程	査察担当者及び予定者	48	通学制 6日間	6月13日(木)～6月20日(木)	第312回	53名	査察行政の現状及び課題を理解し、与えられた権限を正しく執行できること。 防火管理、建築規制及び消防用設備等に係る専門的知識を豊富に有しており、査察要領を修得し ていること。 違反処理に係る専門的知識を修得し、違反対象物に対して是正を指導できること。	査察、違反処理、査察実習、事例研究ほか	
予防科 消防用設備課程	消防用設備等担当者、予定者及び警防担当者	48	通学制 6日間	6月4日(火)～6月11日(火)	第311回	40名	建築規制、消防規制に係る専門的知識を豊富に有していること。	消防同意、消防規制事務、事例研究ほか	
予防科 危険物課程	危険物担当者、予定者及び警防担当者	48	通学制 6日間	7月2日(火)～7月9日(火)	第313回	28名	危険物行政の現状及び課題を理解し、与えられた権限を正しく執行できること。 危険物化学、指定可燃物及び液化石油ガス等に関して災害対策上必要な専門的知識を豊富に有し ていること。 危険物施設に対して許認可等の規制を的確に行い、違反を適切に処理できること。	危険物規制、危険性評価設備等の性能評価、事例研究ほか	
火災調査科	火災調査担当者及び予定者、警防担当者	72	通学制 9日間	5月7日(火)～5月17日(金)	第310回	49名	火災調査業務に係る制度を理解し、与えられた権限を正しく執行できること。 原因調査、損害調査及び鑑定等に係る専門的知識を豊富に有しており、的確な判断能力を備えて いること。 文書実務に係る知識を豊富に有しており、技能を十分に発揮できること。	火災原因調査、火災損害調査、鑑定、調査実習、調査書類作成要領、 関係法令、事例研究ほか	
救助科	救助隊員及び予定者	144	通学制 18日間	10月21日(月)～11月14日(木)	第315回	60名	厳しい条件下において救助活動を遂行し得る旺盛な士気及び強健な身体を有していること。 救助活動に係る最新の専門的知識を豊富に有しており、専門的で高度な技能及び技術を備え、こ れらを活用した応用力を十分に発揮できること。 救助活動及び救助訓練において自らの安全を確保できること。	安全管理、災害救助対策、救助器具取扱訓練、救助基本訓練、惨事ス トレス対策、NBC災害対策、救助応用訓練、体育、総合訓練、事例 研究ほか	
				1月15日(水)～2月7日(金)	第316回	67名			
幹部教育	消防士長の主任級もしくは係長級で昇任後 3年以内のもの 消防司令補の主任級で昇任後3年以内のもの	72	通学制 9日間	5月21日(火)～5月31日(金)	第136回	45名	初級幹部としての責任及び立場を正しく認識していること。 初級幹部として消防行政の動向を理解していること。 上司を補佐し、部下を指導できること。 事故及び障害の発生時に、迅速な初動対応ができること。 災害現場において、現場指揮者の下命を理解でき、自隊に対する安全管理と的確な下命を行える こと。	講話、消防財政、人事業務管理、消防行政の現状と課題、安全管理、 現場指揮、機器取り扱い要領、事例研究、図上シミュレーションほか	
	消防司令補の係長級もしくは課長補佐級で 昇任後3年以内のもの 消防司令の係長級もしくは課長補佐級で 昇任後3年以内のもの	56	通学制 7日間	11月21日(木)～11月29日(金)	第137回	52名	中級幹部としての責任及び立場を正しく認識していること。 中級幹部として消防及び社会全般の動向を理解していること。 迅速かつ的確な意思の決定に基づき、上司を補佐し、部下を指揮監督することにより、組織を管 理できること。 事故及び事件の発生時に、迅速かつ的確な初動対応ができること。 災害現場において、現場指揮者として、災害状況全般の把握、的確な安全管理及び下命を行える こと。	講話、消防財政、人事管理、消防財政の現状と課題、訓練礼式、安全 管理、現場指揮、事例研究、ホットトレーニングほか	
	本部の課長及び課長の職に準ずるもの	8	通学制 1日間	1月24日(金)	第138回	36名	上級幹部にふさわしい業務管理、人事管理及び危機管理に必要な知見を備え、かつ、職責遂行に 必要な水準の判断力を有し、組織全体を円滑に管理運営できること。	管理職の役割、人事管理、業務管理、危機管理ほか	
特別教育	はしご車隊長及び機関員並びに予定者	32	通学制 4日間	4月16日(火)～4月19日(金) 4月23日(火)～4月26日(金)	第175回 第176回	57名	はしご自動車の構造、機能を理解し、操作ができること。 はしご自動車の安全かつ有効、適切な運用と事故防止が図れること。	基礎力学、特殊装置の構造、基本取扱操作、応用訓練、故障と対策、 点検・整備、安全管理ほか	
	水難救助技術研修	救助担当者、救助担当予定者	56	通学制 7日間	7月31日(水)～8月8日(木)	第178回	25名	水面救助全般を習得できること。 基礎的な潜水技術及び潜水士試験に合格することができること。	水面救助、シュノーケリング検索、急流救助、潜水業務、送気、潜行 及び浮上、高気圧障害、関係法令、潜水技術ほか
	通信指令研修	通信指令担当者及び予定者	32	通学制 4日間	6月25日(火)～6月28日(金)	第177回	28名	指令業務において、通信指令員に適切かつ効果的な指導ができること。	指令業務、口頭指導、広報・報道対応、シミュレーション訓練ほか
	実火災体験型訓練 指導者研修	訓練実施時に指導的立場となる者	8	通学制 1日間			名	実火災体験型訓練施設を使用した訓練の指導ができること。	環境測定注水、攻撃型冷却注水、開放型訓練、閉鎖型訓練ほか
	採用後3年目研修	令和4年度の初任教育修業者	16	通学制 2日間	11月7・8日(木・金) 11月11・12日(月・火) 11月14・15日(木・金) 11月18・19日(月・火)	第179回 第180回 第181回 第182回	142名	消防行政の遂行に必要な基礎的知識、技術を再認識するとともに、将来の職務遂行能力と、職員 としての資質向上を図れること。	服務、基本技術訓練、火災性状、消防倫理、講話ほか
	女性活躍推進研修	勤続4年以上10年未満の女性消防吏員	8	通学制 1日間	2月21日(金)	第183回	31名	女性活躍による組織力の向上と、全職員が働きやすい環境づくりに向けた取組を推進することが できること。	セルフコーチング研修、グループディスカッションほか
	教育技法研修	職場において指導的立場の職員	8	通学制 1日間	3月28日(金)	第184回	26名	消防行政の遂行に必要な教育、指導を行う上で指導的立場の職員に対し、部下職員への伝え方や 指導方法等を教育することができること。	教育技法・ハラスメント・コーチングほか

※入校予定者数については、令和6年1月4日現在